令和７年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和７年９月１１日

１．団名

衆議院フランス共和国及びスペイン王国政治経済事情等調査議員団

２．目的

フランス共和国及びスペイン王国における政治経済の重要課題についての議会及び政府要人等との意見交換を通じた関係強化のため

３．派遣議員団

団長	衆議院議員	後　藤　祐　一　君（立憲）
	同	奥　野　総一郎　君（立憲）
	同	臼　木　秀　剛　君（国民）
	同	緒　方　林太郎　君（有志）
	同	竹　上　裕　子　君（保守）
同行	委員部副部長議院運営課長事務取扱	吉　田　一　路
	委員部第三課専門職	芦　﨑　哲太郎

４．派遣期間

令和７年８月２４日（日）から３１日（日）までの８日間

５．派遣国

フランス共和国及びスペイン王国

６．主な調査内容

（１）フランス共和国

①国民議会（下院）議員等と会談を行い、多党制下での与党連合の政権運営の実情や課題等に関する調査及び両国間の友好関係強化のため、意見交換を行った。また、国民議会を視察した。

②国際関係戦略研究所（IRIS）を訪問し、ロシアによるウクライナ侵攻やNATO の役割を含めた欧州における安全保障情勢、ガザ地区を巡る国際情勢等について説明を聴取し、意見交換を行った。

③内務省において、国民議会の小選挙区制度及び上院の大選挙区制度の実情や課題、選挙への SNS の活用等について説明を聴取し、意見交換を行った。

④アイリスオーヤマ・フランスを訪問し、同社の欧州における事業展開等について説明を聴取するとともに、工場を視察した。

⑤フランス軍事博物館を訪問し、同国の軍事史及び軍事技術の変遷・戦略等について調査及び視察を行った。

（２）スペイン王国

①下院及び政党本部を訪問し、実務担当者等と会談を行い、少数与党の政権運営等の実情や課題等について意見交換を行った。また、下院を視察した。

②有識者からスペインの内政について意見を聴取し、少数与党の政権運営等の実情や課題等について意見交換を行った。

③有識者からスペインの安全保障情勢について意見を聴取し、ロシアによるウクライナ侵攻や NATO を含めた欧州における安全保障情勢、ガザ地区を巡る国際情勢等について意見交換を行った。

④保健省において、尊厳死法が成立した経緯、実情及び課題等について説明を聴取し、意見交換を行った。

⑤トレド軍事博物館を訪問し、同国の軍事史及び軍事技術の変遷・戦略等について調査及び視察を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。